

お互いさま

otagaisama

恵みあい、助けあう

特集

5法人合同研修会

5法人がお互いに
切磋琢磨して高め合う
学びと交流の場

クローズアップ

鳥取県の通所リハビリテーション事業所

通所リハビリ5事業所の
ブランディングがスタート

キラキラ働き人

「第27回こほうえん研究発表会」優秀賞受賞者

介護老人保健施設うきま幸朋苑 幸村 優美さん
訪問看護ステーションなんぶ幸朋苑 三澤 雅史さん
キッズタウンさくら 松本 来さん
錦海リハビリテーション病院 福田 由美子さん

5法人合同研修会



廣江晃理事長の挨拶



第36回は4つの法人から多くの方が参加しました

法人の特色ある取り組みを発表
会の運営および実践報告は、各法人が持ち回りで担当しています。こうほうえんは第1回目を皮切りに、第36回まで過去9回担当。開催地は担当の法人が拠点を置く地域とし、毎年春と秋の年2回、それぞれ2日間に行われます。
実践報告では、法人の中でも特に注目されている取り組みが選ばれます。「発表者にとっては、自身の取り組みを整理し、次の取り組みにつなげる良い機会。また、このような大きな舞台上に選ばれることで、モチベーションも上がります」と永田さん。当然、実践報告には、その法人の特色や独自性が

色濃く出ます。「発表者の「自分たちの取り組みが、広く波及してほしい」という想いは強く、参加者の皆さんも、非常に熱心です」と会場の熱意を伝えます。
スケジュールには、実践報告のほか施設見学も含まれ、実際の現場を体感することが出来ます。参加者の皆さんは、新しく得た知識や情報、異なる視点を日々の業務に還元したり、自身の職場に持ち帰ったり、新たな取り組みをスタートさせたりと、積極的に学びを生かしています。
法人の垣根を越えた交流の場
5法人合同研修会は、地域も特色も異なる5つの法人が、親睦を深める

5法人がお互いに
切磋琢磨して高め合う
学びと交流の場

業界の地位向上を目指して

「5法人合同研修会」は、1999年から続く、5つの社会福祉法人による合同の勉強会です。およそ四半世紀前、世間的な認知度も低かった福祉の世界の地位向上を目指し、「大阪自強館」(大阪府)の故・吉村靱生前理事長の呼びかけで、「こうほうえん」と他2法人が集まり、4法人の合同研修会としてスタートしました。現在は、こうほうえん、大阪自強館、「成光苑」(大阪府)、「青山里会」(三重県)、「カムレ」(岡山県)の5法人で構成され、介護や保育、障がい者支援、生活困窮者支援などの領域で、それぞれに特色を持っています。

熱意が集まり今日まで継続

こうほうえんの前研修会財部部長で、職員教育の充実に力を注いできた永田寿子さんは、会の立ち上げ

またとない機会です。1日目の実践報告の後は、恒例の懇親会が開かれ、打ち解けた雰囲気の中でコミュニケーションを深めています。永田さんは「交流の楽しさがあったからこそ、続いているのかもしれないね」と笑顔を見せ、「おかげで法人同士の仲が良く、わからないことは気軽に聞き合える関係です」と語ります。
福祉業界の地位向上のために、業界をリードする法人が集まった5法人合同研修会。今なお、お互いに高め合う姿勢は、社会にその存在意義を発信するとともに、福祉業界で頑張る他の法人を勇気づけています。

お話を聞いた人



こうほうえん研修会財部 前部長
ながた ひさこ
永田寿子さん

看護師として博愛病院勤務を経て、「高齢化が進み、福祉の世界を勉強したい」と、1999年にこうほうえんに入職。海外研修など職員教育の充実に力を注ぎ、退職した現在も「デイハウスくずも」を手伝う。

当初から運営を支えてきました。永田さんは「大阪自強館の吉村先生から最初にお声かけいただいたのが、こうほうえんでした」と当時を振り返り、次のように話します。

「当時理事長だった廣江研会長が、話を聞いてすぐに賛同したことを覚えています。2法人間で運営方針などが話し合わせ、4か月後には第1回目が開催された。あつという間でしたが、それくらい、当時の福祉の世界に必要なことだったのです」

長年の歩みの中で、参加する法人の入れ替えはありましたが、どの法人も「情報を発信し、知識や技術の向上に努め、業界全体の底上げをしたい」という高い志の持ち主です。各法人の熱量に支えられて今日まで会は継続し、新型コロナ禍による中断はあったものの、今年2月には第36回目を迎えることができました。

4年ぶりに米子でリアル開催
第36回 5法人合同研修会

今年2月、新型コロナ禍による中断を乗り越えて、米子市の皆生グランドホテル天水で「第36回 5法人合同研修会」を開催しました。従来と比べて規模を縮小したものの、オンライン配信も組み合わせ、実践報告ではこうほうえんの4つの取り組みを紹介。内容の濃い2日間となりました。

実践報告

- ①中国コンサルタント事業報告
- ②ブレッド&バター 新たなファンづくりにSNS活用の挑戦
- ③境界知能・グレーゾーンの子どものための取り組み
- ④錦海リハビリテーション病院における戦略的地域連携



懇親会の余興では「藤井バンド」による沖縄音楽のおもてなし
(右奥:こうほうえんの藤井和夫 総務課長)



美味しい食事を味わいつつ、参加者同士でコミュニケーションを深めました



会長の挨拶(懇親会場)



第36回は皆生温泉で開催
(鳥取県米子市)



こうほうえんの実践報告

参加法人の方にお話を聞きました!

今回は、中国派遣についての発表を聞くのを楽しみにしていました。こうほうえんさんが新たに取り組まれる事業にはいつも驚きがあります。新たなことを切り拓いてやり遂げられる力を目にする、いつも刺激になり、自法人ももっと頑張らなければならないと思います。



社会福祉法人大阪自強館
辻岡渉 第一事業部長

5法人研修会にはほとんど参加をしていますが、毎回こうほうえんさんの発表を楽しみにしています。素晴らしいスタッフの方が揃っておられることに毎度感じます。取り組まれている事業の発表は参考にさせてもらっていることが多く、とても力をもらっています。



社会福祉法人成光苑
藤原義章 理事

こうほうえんさんの発表を聞くと、事業の内容や規模にいつも驚きます。こうほうえんさんの印象は「人」。人財が本当に豊富で幅広い。人がすごくいいな、様々なバックグラウンドの方が集まっているなど毎回感じます。今回は『ブレッド&バター』の藤井さんの発表に特に感銘を受けました。



社会福祉法人カムレ
久保巨人 次長

鳥取県の通所リハビリテーション事業所

こうほうえんの通所リハビリテーションとは

通所リハビリテーション(デイケア)は、要支援者・要介護者が、施設に通って専門職のリハビリを受けられる介護保険サービスです。こうほうえんでは、5つの通所リハビリテーション事業所すべてに、PT、OT、STに加え、歯科衛生士や栄養士を配置。介護、医療との多職種連携で、ご利用者の生活に即したリハビリを提供。充実した人員配置は、こうほうえんの通所リハビリの特長です。

close up クローズアップ

こうほうえんの施設を掘り下げて紹介!

いなば 通所リハビリテーションいなば幸朋苑

Q1.リハビリテーションの取り組みや、特に力を入れていることを教えてください。

A1.生活に更なる張りを生み出す事を目的に、心身機能回復のみに目を向けるのではなく、ご利用者一人ひとりにとって“大切に意味のある活動の実現”に向け、家事動作、趣味活動、外出活動などにも積極的に取り組んでいます。自宅訪問指導を積極的に実施し、リハビリ訓練による成果及び課題の抽出をご利用者、ご家族と再確認することで、より安心・安全な在宅生活に繋がっています。

Q2.『いなば幸朋苑』の特徴を教えてください。

A2.要介護者には定期的リハビリ会議が開催され、ご利用者、ご家族、医師を中心にあらゆる職種が一同に会し、生活目標に対する進捗の確認、日常生活課題への助言、健康面の相談など、密な連携を図っています。複合施設であり、ご利用者、ご家族の状況に合わせて、他サービスの紹介や他事業所との連携も密に図ります。苑内の廊下歩行で、充実した長距離歩行訓練が実施可能です。



- 住所：鳥取市浜坂228-1
- TEL：0857-23-6611
- 営業時間：月～土曜8:30～17:30
- 定員：45名
- 対象者：要支援1～2、要介護1～5

にしまち 通所リハビリテーションにしまち幸朋苑

Q1.リハビリテーションの取り組みや、特に力を入れていることを教えてください。

A1.在宅で生活している脳卒中や神経疾患に罹患している方が約7割を占めており、様々な後遺症を抱えながらもその人らしく生活を送ることができるための個別リハビリテーションに力を入れています。

Q2.『にしまち幸朋苑』の特徴を教えてください。

A2.入浴・食事提供がないリハビリテーションのみに特化した短時間の事業所です。今後は、バスに乗車してお店で買い物や、公共施設等の外出訓練等を充実させていきたいと考えています。



- 住所：鳥取市西町5-108
- TEL：0857-25-6517
- 営業時間：9:00～12:00、13:00～16:30
- 定員：午前・午後 各23名
- 対象者：要支援1～2、要介護1～5

なんぶ 通所リハビリテーションなんぶ幸朋苑

Q1.リハビリテーションの取り組みや、特に力を入れていることを教えてください。

A1.半日利用の通所リハであり、活動的に過ごしていただくことを目指してリハビリ以外の時間に、リハビリ職員の評価の下、歩行練習やマシントレーニング、手工芸、脳トレなどの活動を提供しています。生活行為向上リハビリテーション加算を算定し、必要な方には月1回自宅訪問し、自宅等生活環境での指導など生活に即した活動の提供を実施しています。

Q2.『なんぶ幸朋苑』の特徴を教えてください。

A2.施設内に老人保健施設など入居施設だけでなく、在宅のサービスを併用しているため、連携がとりやすく相談しやすい環境です。リハビリ職の評価の下、介護士とともに歩行練習やマシントレーニング、手工芸、脳トレ活動などを行っています。7月からは、ご利用者の要望(入浴や食事)に応じて過ごし方を選択していただけるように1日利用できる通所リハビリを開始します。



- 住所：米子市石井1238
- TEL：0859-26-5566
- 営業時間：8:30～17:30
- 定員：70名
- 対象者：要支援1～2、要介護1～5

きんかい 通所リハビリテーションきんかい

Q1.リハビリテーションの取り組みや、特に力を入れていることを教えてください。

A1.運動強化型の短時間通所であり、全ご利用者に対して1対1のリハビリを提供させていただきます(食事や入浴はありません)。ご利用者の生活状況や家屋環境などをお伺いしながら動作練習や福祉用具の導入など、ご利用者の生活に寄り添った支援を行います。

Q2.『きんかい』の特徴を教えてください。

A2.病院併設であり、スタッフは回復期病棟経験者も多く、急性期病院や回復期病院を退院されたご利用者の様々なニーズに対してお答えすることができます。リハビリ職員の視点で個別リハ以外の時間の運動の再検討など、運動強化型通所として、ご利用者の満足度向上を目指します。



- 住所：米子市錦海町3-4-5
- TEL：0859-34-2388
- 営業時間：月～金曜8:30～12:15、12:45～17:30
- ※土・日曜および12/30～1/3は休み
- 定員：午前・午後 各38名
- 対象者：要支援1～2、要介護1～5

さかい 通所リハビリテーションさかい幸朋苑

Q1.リハビリテーションの取り組みや、特に力を入れていることを教えてください。

A1.運動面では、リハビリ職員との個別訓練や介護職員との自主訓練を提供しています。リハビリ以外の時間も充実した自主訓練が取り組めるよう、パワーリハビリやサンディング、プーリーなど、ご利用者に合った様々な訓練を提供。言語面では、ご利用者の言語障害レベルに合わせた個別訓練や集団訓練も行い、クイズや伝言ゲームなどの言葉にちなんだ訓練や外出訓練などもしています。

Q2.『さかい幸朋苑』の特徴を教えてください。

A2.終日利用できる一般デイケアと、午前・午後に分かれた短時間デイケアがあります。短い時間で運動をしっかりしたい、1日では長すぎる、昼食や入浴サービスも利用したい、といったご利用者の要望に合わせて対応しています。今年度は体組成計を導入した新たな取り組みや、失語症や言語面にお悩みのご利用者・ご家族、多職種を交えた言語障害カフェの再開も予定しています。



- 住所：境港市誠道町2083
- TEL：0859-45-1234
- 営業時間：8:30～17:30
- 定員：50名
- 対象者：要支援1～2、要介護1～5(65歳以上)、医師からリハビリが必要と判断されている方



通所リハビリ5事業所のブランディングがスタート

3つの領域のリハビリの専門職
リハビリテーションは、病気やケガ、加齢などの、何らかの理由で後遺症や障がいを抱えている方が、社会生活を取り戻すための訓練を言います。リハビリの主な専門職は3つ。立つ、歩く、座るなどの日常の基本動作のリハビリを担当する「理学療法士(P.T)」、食事や入浴、字を書くなど

の日常生活の応用的動作の回復を目指す「作業療法士(O.T)」、話す、聞く(言語)、飲み込む(嚥下)などの機能のリハビリを行う「言語聴覚士(S.T)」です。リハビリの専門家たちは、ご利用者とコミュニケーションを深め、生活の中のニーズを探り、自立支援を促します。

Active Plus

ご利用者の活動的な生活に付加価値を

「Active Plus」は、昨年10月からスタートした、こうほうえん内の通所リハビリテーション事業所のブランディング活動の通称です。本誌に掲載するような各事業所の独自性や特色をより深くしていくほか、共通の取り組みとして評価法を統一していくことも始めています。これにより法人内で事業所を移っても繋ぎ目のないサービスの提供が可能です。

Active Plus
アクティブプラス

Active plus ロゴ



お話を聞いた人

錦海リハビリテーション病院

主任 言語聴覚士 **岩田久義**さん

錦海リハビリテーション病院

通所リハビリテーションきんかい
係長 作業療法士 **岡本悦子**さん

錦海リハビリテーション病院

通所リハビリテーションきんかい
主任 作業療法士 **生田陽介**さん



「第27回こうほうえん研究発表会」優秀賞受賞者発表

2023年3月25日に、第27回こうほうえん研究発表会が開催されました。米子コンベンションセンターを主会場に、オンラインで複数の会場をつなぎ、QRコードで投票。保育やケア、在宅支援・地域連携など、各分野の報告があり、他法人からの参加もありました。全65演題の中から選ばれた優秀賞受賞者4名をご紹介します。

ご利用者の活動が、より楽に継続できるように

「手すり付きターンテーブル」とは、直径90センチほどの円型のベースに手すりが付いた福祉用具です。トイレの便座前に設置し、その手すりを持つて立ち上がるとベースが回り、体の向きを楽に変えられて、介助者の負担も減らせます。

今回の発表は、福祉用具メーカー向けの使用状況の報告をきっかけに、研究として深めたものです。調査の過程では、移乗やズボンの上げ下げ、陰部洗浄など、すべて動作を一人ひとり



【受賞演題】「手すり付きターンテーブルの検証～双方にやさしいトイレ支援～」

プロフィール

介護老人福祉施設 うきま幸朋苑 作業療法士

幸村 優美さん

病院やホスピスでの勤務を経て、2022年9月入職。現在は、機能訓練指導員として、ご利用者が心身機能を生かした生活ができるように、福祉用具の選定なども行う。

比較し、評価する必要があります。しかし、研究を通じて福祉用具の捉え方の幅が広がったように思います。以前は「できないことをできるようにするもの」と捉えていましたが、今は「できていたことを楽にしてあげて、QOLの向上に役立つもの」でもあるという認識です。今後は対象者を広げてニーズを掘り起こすとともに、トイレ以外の活動でも、より楽になる方法を探っていきたいです。

「こうほうえん研究発表会」とは？

年1回、その年の取り組みとして、職員が調査・研究した成果を発表し研鑽し合う研究発表の場です。学会発表の形式で行われ、毎年100以上の演題が集まっています。ここ数年はコロナ禍のため規模を縮小して開催していましたが、第27回は感染対策に留意しつつハイブリッド・オンライン方式で開催。全65演題の発表がありました。

異なる不適切保育の捉え方を共通化

こうほうえんでは、「不適切保育ゼロ宣言」を掲げています。不適切保育とは、子どもを身体的・精神的に脅かしたり、傷つけたりする保育を指すのですが、実際の現場では「何が不適切か」は、保育者の視点により異なります。例えば、子どもの人権は守られなければいけません。が、社会性や危険回避の観点から「ダメ」と言うこともあります。その線引きが人によって異なると、対応に差異が生じてしまうのです。また子どもの性格によっても、



【受賞演題】「子どもの思いによりそう保育 ～不適切保育とは何か分析と検討から見えてきたもの～」

プロフィール

キッズタウンさくら 保育士

まつもと きたる 松本 来さん

こうほうえん入職4年目。自身の出身保育園でもあるキッズタウンかみごとうに勤務した後、今年からキッズタウンさくらへ。現在は2歳児クラスの担任を務める。

対応は変わります。本研究は、人によって異なる不適切保育の線引きを統一しようと、不適切保育かそうでないか、職員同士で話し合い、意識の共有を図りました。周囲のサポートのおかげで、初めての研究発表を乗り越えることができました。本当に感謝しています。研究を通じて、「子どもにとって本当に大事なことを考えた保育」をより意識するようになり、自分自身の変化も実感します。

統一パンフレットで切れ目のない脳卒中予防の指導を

今回の研究発表のテーマは2年ほど前にスタートし、今も継続して取り組んでいる内容です。当院の患者さんは、脳卒中の方の割合が高いのですが、お話を聞くと、再発を繰り返している方や、ご自分で治療を中断している方が多いことに気づきました。そこで、再発予防のパンフレットを作成して院内での指導をスタート。さらに、急性期病院から回復期リハビリ病院に移り、自宅に帰るまで、連続性のある指導を受けられるよう、統一のパンフ



【受賞演題】「急性期病院と回復期病院で統一した指導を行うための、脳卒中再発予防パンフレットの作成」

プロフィール

錦海リハビリテーション病院 看護師

ふくだ ゆみこ 福田 由美子さん

県外の急性期病院での勤務を経て、15年ほど前にリターンし、錦海リハビリテーション病院に入職。現在は多職種で連携しながら退院後の生活を見据えた看護にあたる。

レットも作成しました。急性期病院や、看護以外の職種にも活用してもらえようように周知に努めた結果、急性期から回復期の病院に移行しても、指導の段階を把握できて、スムーズな指導ができるようになったと実感しています。

今後は、患者さんが自宅に戻られてからも指導を実践し続けられるように、地域のかかりつけ医やケアマネジャー、通所リハビリなどとの連携を目指しています。

4年間のフレイル予防教室の成果を検証

米子市の永江地区では、2019年、米子市のモデル事業として米子市、こうほうえん、鳥取大学医学部によるフレイル予防教室「永江スクール」がスタートしました。これは、フレイル予防軍の方に参加してもらい、最初に筋力テストや認知症テスト、栄養士や言語聴覚士のチェックを実施し、その後3か月間にわたり理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、栄養士らによるフレイル予防のプログラムを受けるといったもの。



【受賞演題】「永江地区のフレイル予防 ～フレッシュアップ！永江スクール4年間の軌跡～」

プロフィール

訪問看護ステーション なんぶ幸朋苑 理学療法士

みさわ まさし 三澤 雅史さん

こうほうえんに入職して10年目、なんぶ幸朋苑は配属7年目。訪問看護ステーションに勤務し、1日6～7件、ご利用者宅に訪問し、リハビリを行っている。

プログラム最後の、再度テストを受けて、改善具合を調査するわけです。

永江地区では4年間で計5回実施され、他の地域と比べて優位な結果が得られました。今回の発表は、この取り組みをまとめたもので、永江地区の成果は、専門職だけでなく地域のサポーターも含む多職種の密接な連携によるものと考えられます。今後は、アプリやメールなど、ICTを活用した予防の意識の向上に期待しています。

中国蘇州市の『天易養老発展有限公司』が来訪されました

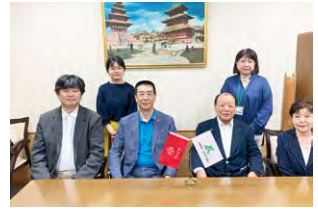
2023年5月18日(木)～22日(月)の5日間、中国蘇州市の『天易養老発展有限公司』の譚偉(タンウェイ) 董事長、研究開発部の楊(ヤン) 様が弊法人に来訪されました。2020年1月に『天易養老発展有限公司』と「介護事業・リハビリテーション戦略的支援契約」を締結してから3年が経ちましたが、譚董事長は3回目、楊様は初めての来訪です。

滞在中、東京・鳥取の施設見学、職員へのインタビューをはじめ、研修会参加等、精力的に活動され、日本の医療・介護・リハビリテーション発展の歴史、組織運営、認知症ケア、介護リハビリ全般について理解を深められました。私たちが直接コミュニケーションを取ることで、相互理解を深め、協力関係をより強固なものにしたと感じています。コロナが明け、今後より活発に交流ができると期待しています。

『こうほうえん』と『天易養老発展有限公司』との関わり...高齢化が急速に進む中国において、蘇州市と『天易養老発展有限公司』は共同プロジェクトとして日本の介護リハビリ技術を導入した新しい事業を計画しました。2020年1月に、弊法人は『天易養老発展有限公司』のパートナーとして、日本の専門的技術、ノウハウの提供要請を受け、36年間培ってきた脳血管障害リハビリテーションをはじめとする最新のリハビリ技術と介護技術を提供することになりました(介護・リハビリテーション事業戦略的支援契約の締結)。2020年10月と2022年5月にそれぞれ約4か月間技術指導に専門職員を2名(よなご特養:戸田悦子介護課長、錦海リハ兼さかい老健:児嶋吉功言語聴覚士)派遣しました。コロナ禍の影響もあり派遣が以降停滞していましたが、今後も継続して専門職員の派遣をしていく予定です。この契約は、社会福祉法人に対する積極的な社会貢献活動が求められている中、国内だけの貢献活動に留まらず海外にも目を向けた国際貢献活動の一步になっています。2022年12月には、2件目の中国合作プロジェクトとして『上海愛照護医療科技有限公司』との基本合意書を締結しました。同様に事業を進めてまいります。



【5/18】ケアホーム西大井にて譚偉董事長、田中とも江施設長へのインタビュー



【5/22】本部での記念撮影

寄付者 一覧

※令和5年3月～令和5年5月にご寄付をいただいた皆さま

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 吉川恭子様 / 100,000円 ●齋木広美様 / 50,000円 ●その他 / 2,427,000円 <北東京エリア> ●園児保護者 毛利様 / 子ども用マスク ●卒園児 / 玩具
- <西東京エリア> ●個人様 / 10,000円、かけはしまつり ●個人様 / 92,000円 ●個人様 / 10,000円 ●数名の個人様 / ひまわりの苗、種等
- <南東京エリア> ●関川聿子様 / 100,000円

寄付金合計額: 2,577,000円

ボランティア 一覧

※令和5年3月～令和5年5月にボランティアにご参加いただいた皆さま

貴重な時間をいただき、深くお礼申し上げます。

- <さかいエリア> ●車椅子清掃...境港総合技術高校12名 ●花植え...境港総合技術高校・ホームデコ境港店13名 ●「みなとガーデン」花植え等...境港総合技術高校9名 ●「みなとガーデン」整備...境港総合技術高校7名 ●清掃、落ち葉掃き...境港総合技術高校2名 ●「みなとガーデン」ブラッシュアップ...入居者ご家族、デイサービスご利用者2名
- <よなごエリア> ●ご利用者とのコミュニケーション・食事の準備等...米子市ボランティアセンター14名 ●「アザレア祭り」ピアノ、フルート演奏...奥田様、正木様 ●草取り...米子市ボランティアセンター2名
- <なんぶエリア> ●地域カフェ手伝い...乗田千恵様、仲田みどり様、勝部尚子様、佐藤陽子様、足羽恵美子様、石田喜和子様、斉木ルミ子様、道面美周恵様、西山直子様、佐藤尚子様、尾原稔枝様、梅木恭美様 ●軽作業・傾聴・読み聞かせ...道面美周恵様、秋鹿英美子様 ●読み語り・交流...秋鹿英美子様 ●傾聴・交流...宮永和美様
- <北東京エリア> ●お茶出し・配膳...渡辺淑子様、他6名 ●歌と楽器演奏...スターフェスティバル5名 ●園児へのお話し会...おはなしチャチャチャ4名、絵本・紙芝居サークルくれよん8名 ●子どもとのコミュニケーション・料理盛り付け...こども食堂6名 ●絵本の読み聞かせ...すまいる北3名 ●ハンド・フットマッサージ... (株) 未来プロジェクト1名 ●似顔絵描き...似顔絵クラブ6名
- <西東京エリア> ●イベント手伝い...ひとはなサロン24名 ●植栽活動...20名 ●読み聞かせ...小茂根図書館他6名
- <南東京エリア> ●出張おはなし会...深川図書館10名 ●保育ボランティア...第三砂町小学校2名、第五砂町小学校1名 ●フラダンスボランティア...ご利用者家族他5名 ●ピアノ演奏...3名 ●ハンドマッサージ...プラチナ美容塾6名 ●フラワーアレンジメント...アトリエ金木犀3名 ●ピアノ演奏ボランティア...山田様、他1名 ●楽器演奏・歌唱...ハートフル3名 ●紙芝居...評議員 別所清平様
- <錦海リハビリテーション病院> ●各エリアの廃棄車いすの回収・故障した車いすのリユース・リサイクル作業...上村順一様、松原岳洋様、松本昌樹様、足立見一様、今田健様



法人本部事務局

〒683-0853
鳥取県米子市両三柳1400
TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113
フリーダイヤル:0120-418-658
E-mail:welfare@kohoen.jp

東京事業本部

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-3-7KSビル203号室
TEL:03-3365-1331 FAX:03-3365-1339



2014年度日本経営品質賞大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索
https://www.kohoen.jp